

平成 29 年度「自己評価報告書」

社会福祉法人愛護会
第二東水沢保育園

I 保育目標

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ●健康で明るい子ども | ●なぜだろうと考え、物事に疑問をもつ子ども |
| ●自分のことは自分でできる子ども | ●他人のことを考え、協力できる子ども |
| ●自然に親しみ、愛することのできる子ども | ●豊かな心を持つ子ども |
| ●人の話をしっかり聞き、自分の意思を言葉で話せる子ども | |

II 施設運営の重点課題

- | | | |
|------------|----------|---------------------|
| ●保育内容の充実 | ●風の子農園運営 | ●地域社会や社会資源の積極的活用 |
| ●障がい児保育の充実 | ●食育指導の充実 | ●子育て支援活動の推進と地域福祉の向上 |
| ●職員の資質向上 | | |

評価の基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組んでいるが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

III 評価項目と取り組み状況

自己評価項目		評価	取り組み状況
1	保育内容の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針を職員間読み合い研究し合った。 ・子ども一人ひとりの発達についてその過程や特徴に応じた保育を行った。 ・子どもの生活や遊びを通し、養護と教育が相互に関連を持つ保育を展開することができた。
2	地域社会資源の積極的活用	A	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人から新しい社会資源・地域の情報をいただき保育に活用し多様な保育が出来た。 ・5歳児は大深沢川でのサワガニ捕り、盛岡動物公園見学、金ヶ崎千貫石公園でのそり遊び・スノーモービル乗車体験をした。カブト虫の幼虫の観察・飼育は園全体で行い、虫への興味・関心を高めた。 ・小正月行事には江刺稲瀬地区の権現舞の方々が来園し神事の舞、そして子ども達全員に「頭かじり」をしていただいた。
3	風の子農園運営	B	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜を育てることで植物の成長や変化に興味や関心を育てる。 ・野菜の世話を通して働

		く事の尊さや喜びを育てる。		礎力を育てることができた。 <ul style="list-style-type: none"> できた野菜をさまざまな料理にし、食べる楽しみや意欲が育った。
4	障がい児保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 発達過程や様々な障がいに応じた保育が出来るよう、家庭、保育園、専門機関と連携を取りながら障がい児保育の充実を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 県立療育センター・市幼児教室またその他の専門機関の方々と一人ひとりの発達について詳しく検討し保育を進めることができた。 幼児教室・保護者・園と連携して保育を進めた。 子ども達は障がい児、健常児共に育ちあっている。
5	子育て支援活動を通し地域福祉推進の向上	<ul style="list-style-type: none"> 東水沢保育園に協力し地域の子育て支援活動の推進に努めるとともに地域福祉向上を図る。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 月2回家庭に発信するクラスだよりに子育てコーナーを設け家庭保育のアドバイス、親の対応などのアドバイスを行った。 低年齢児は特に個別連絡帳で子どもの成長発達を伝えた。毎日クラス全員分の記入は難しいことがあるが、子ども達の成長、保護者の成長には効果が多く、子育て支援となった。
6	食育指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 保育参加日を利用し親子クッキングを行いながら食の大切さや料理への興味を高め食育の指導を行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 畑で収穫した野菜やプランターで育てた野菜をクラスごとに様々な工夫して料理作りを楽しむことが 保育参加日にも親子クッキングを行い、食の大切さや作ることの楽しさも経験できた。保護者の料理のレポトリーを増やす参考にしていただくことができた。 文化祭でも給食試食や子どもにとって体によい食事などの展示も出来た。
7	職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修会への参加、保育事業部会研修及び園内研修を深め子どもの発達を尊び保護者、地域住民に信頼される力量を備えた保育者を目指す。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 保育事業部会研修は子供の発達と身体リズム運動遊びを中心として取り組んだ。 部会内公開研修を子どもの年齢別に行い指導の仕方やリズムの正しい動き方を学習できた。また、講師を招いて身体リズム運動の動きを学んだ。 たくましい子を生み育てる実践・研究は年齢別に子どもの発達と具体的保育について学習し合った。